

以下の通り回答申し上げます。

質問①：上記の問題は、今回、初めて浮上したもので、福島医大や東大の検証委員会でも議論されていません。いつ誰の指摘で発覚したのか教えてください。

→ 宮崎らが2014Q3のガラスバッジデータ数に誤りの可能性があることを初めて認識したのは、貴 OurPlanet-TV 白石様から2月19日に当学広報にいただいたメールのご指摘からです。

質問②：伊達市の調査によると、2014Q3のデータを伊達市から宮崎先生や早野先生に提供した記録がありません。データを入手していないにもかかわらず、早野氏が前年度のデータを加工してグラフを作った捏造の可能性があると思っています。その確認をしたいです。データを本当に受け取ったのか。受け取ったのであれば、誰から、いつ、どのような方法で受け取ったのか教えてください。

→宮崎らは、伊達市から2015年8月12日にすべてのデータを受け取り、その中に2014Q3のデータを含むことについても当時の伊達市担当者に確認した上で、正しいデータとして取り扱ってまいりました。

追加質問：(前略) 間違いの上に、さらな間違いを重ねていて、かなり驚きますが、この人数は、早野さんがJRP誌へ報告したのではないのでしょうか。

あるいは、宮崎先生がJRP誌に報告したのでしょうか。この数字はどこから引用したのか、なぜ間違えたのか教えてください。よろしくお願いします。

→宮崎がJRP誌に報告した「12,011」という数字は伊達市被ばくデータに関する調査委員会報告書から引用したもので、本来「12,912」を引用すべきところを、宮崎の単純なミスとして表中の数字のコピー元を間違えたものです。謹んで訂正いたしますとともに、JRP誌にその間違いについての修正をすでにお願いをしているところです。